

第39回六甲クイーンズ オープン トーナメント

8名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	2 1 L - 2 2 L	2 5 L - 2 6 L	2 9 L - 3 0 L	3 3 L - 3 4 L
1	佐藤まさみ vs 倉田 萌	大根谷 愛 vs 名和 秋	三浦 美里 vs 川崎 由意	幸木百合菜 vs 近藤 菜帆
2	川崎 由意 vs 近藤 菜帆	三浦 美里 vs 幸木百合菜	倉田 萌 vs 名和 秋	佐藤まさみ vs 大根谷 愛
3	三浦 美里 vs 名和 秋	佐藤まさみ vs 近藤 菜帆	幸木百合菜 vs 大根谷 愛	倉田 萌 vs 川崎 由意
4	大根谷 愛 vs 川崎 由意	幸木百合菜 vs 倉田 萌	佐藤まさみ vs 三浦 美里	近藤 菜帆 vs 名和 秋
5	幸木百合菜 vs 佐藤まさみ	名和 秋 vs 川崎 由意	大根谷 愛 vs 近藤 菜帆	三浦 美里 vs 倉田 萌
6	倉田 萌 vs 大根谷 愛	近藤 菜帆 vs 三浦 美里	名和 秋 vs 佐藤まさみ	川崎 由意 vs 幸木百合菜
7	名和 秋 vs 幸木百合菜	川崎 由意 vs 佐藤まさみ	近藤 菜帆 vs 倉田 萌	大根谷 愛 vs 三浦 美里
P・M	8位 vs 7位	6位 vs 5位	4位 vs 3位	2位 vs 1位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、`ラウンドロビン` の名称がつけられたと言われています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50 C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行い決勝ステップラダー進出者4名を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ TV 決勝ステップラダー（4名によるステップラダー方式）

上位4名にて、順位ごとの対戦で勝つごとに順位を上げていく試合方法。

